

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月5日

上場会社名 ころネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6060 URL http://cocolonet.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 高紀
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 安斎 紀之 TEL 024(573)6556
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満は切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,375	13.4	873	△2.0	947	△1.7	1,000	136.6
25年3月期第3四半期	8,268	6.6	891	5.5	963	7.5	422	△23.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,044百万円 (148.3%) 25年3月期第3四半期 420百万円 (△23.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	260.21	—
25年3月期第3四半期	120.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	22,104	7,834	35.4	2,038.66
25年3月期	16,209	6,488	40.0	1,831.42

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,834百万円 25年3月期 6,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,633	20.3	1,004	8.4	1,053	△3.5	689	30.8	179.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 （社名）株式会社郡山グランドホテル、除外 1社 （社名）

詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	3,843,100株	25年3月期	3,543,100株
26年3月期3Q	55株	25年3月期	55株
26年3月期3Q	3,843,045株	25年3月期3Q	3,496,017株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11
4. 施行件数の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景に景気回復に広がりが見え始めました。一方で、円安進行による輸入価格の上昇や消費税引き上げの影響等消費減退の可能性を含み、先行きは依然として不透明な状況であります。

当社グループの事業基盤となる福島県の経済は、復興関連需要が継続し、企業収益や個人消費は持ち直してきました。

このような環境下、当社グループでは平成25年4月に株式会社郡山グランドホテル（以下「郡山グランドホテル」という。）を完全子会社化し、また知名度・ブランド力の向上のためにテレビ・ラジオコマーシャル等によるプロモーション活動を行いました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は9,375百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益は873百万円（同2.0%減）、経常利益は947百万円（同1.7%減）となりました。また、特別利益として主に負ののれん発生益209百万円を計上した結果、四半期純利益は1,000百万円（同136.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高または振替高を除き表示しております。

なお、当社は事業子会社の経営統括を主たる目的とする純粋持株会社であり、各連結子会社からの不動産賃貸料収入、経営管理料収入及び配当金を主たる収益としております。一方で、各セグメント（各連結子会社）の営業費用には、当社に対する不動産賃借料及び経営管理料が計上されております。

① 葬祭事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、死亡者数は微増傾向にあるものの、同業他社との競争は厳しさを増しております。

このような状況の下、テレビコマーシャル、折込チラシ、終活をテーマとしたセミナー等の広告展開や営業推進を強化しました。また郡山グランドホテルの完全子会社化により、福島県内に葬祭会館3施設を加えました。その結果、売上高は3,778百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は160百万円（同1.3%増）となりました。

② 石材卸売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、震災後の墓石等の修復需要は落ち着きを見せております。

このような状況の下、高級石種の販売に注力し売上増加に取り組みましたが、円安等により仕入コストが上昇し収益性が低下しました。その結果、売上高は1,423百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は118百万円（同24.8%減）となりました。

③ 石材小売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故により立ち入りが制限されていた区域等への滞在が一部可能となりました。

このような状況の下、当該エリアへの営業活動に注力したほか耐震構造墓石を積極的に提案しましたが受注の増加には至りませんでした。その結果、売上高は1,095百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は79百万円（同31.9%減）となりました。

④ 婚礼事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、婚礼施行は平時の水準に戻り横ばいで推移しました。

このような状況の下、郡山グランドホテルの完全子会社化に伴い福島県郡山市に婚礼会場1施設を加え、福島県内の既存の婚礼会場をリニューアルしました。また、これに伴う広告宣伝活動、法人・団体等への営業活動を強化し来館者数の増加に努めました。その結果、売上高は2,656百万円（前年同期比45.1%増）、営業利益は328百万円（同42.4%増）となりました。

⑤ 生花事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、生花需要は横ばいで推移しました。

このような状況の下、山形県山形市に山形営業所を新設し売上増加を図りましたが、同営業所開設に伴う初期費用が先行しました。その結果、売上高は358百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は58百万円（同21.7%減）となりました。

⑥ 互助会事業

互助会事業につきましては、互助会代理店による会員募集活動を強化し、会員数、互助会を利用した葬儀及び婚礼施行の増加に努めました。その結果、売上高は7百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は4百万円（同77.0%減）となりました。

⑦ その他

その他につきましては、装販部門における主力商品である棺の販売は堅調に推移しました。一方で介護事業における開業準備費用が増加しました。その結果、売上高は52百万円（前年同期比18.5%増）、営業損失は2百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ677百万円増加し4,257百万円となりました。これは主に郡山グランドホテルの完全子会社化等による現金及び預金の増加によるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ5,218百万円増加し17,847百万円となりました。これは主に郡山グランドホテルの完全子会社化等による建物及び構築物の増加によるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ221百万円増加し2,517百万円となりました。これは主に郡山グランドホテルの完全子会社化等による1年内返済予定の長期借入金の増加によるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ4,328百万円増加し11,752百万円となりました。これは主に郡山グランドホテルの完全子会社化等による長期借入金の増加、前払式特定取引前受金の増加によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,345百万円増加し7,834百万円となりました。これは主に郡山グランドホテルとの株式交換における資本剰余金の増加、四半期純利益1,000百万円に伴う利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月15日の「平成25年3月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式会社郡山グランドホテルを株式交換により完全子会社化したため、株式会社郡山グランドホテル及びその子会社2社（株式会社互助システムサークル、株式会社川島）を連結の範囲に含めております。

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したこころガーデン株式会社を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,281,660	2,784,038
受取手形及び売掛金	717,522	687,278
有価証券	—	100,167
商品及び製品	327,228	415,680
仕掛品	37,830	43,467
原材料及び貯蔵品	17,238	19,304
その他	259,824	272,484
貸倒引当金	△61,075	△64,860
流動資産合計	3,580,230	4,257,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,012,620	6,936,854
土地	3,777,146	5,010,555
その他（純額）	127,599	474,597
有形固定資産合計	8,917,366	12,422,006
無形固定資産		
のれん	116,824	96,638
その他	30,364	39,465
無形固定資産合計	147,188	136,104
投資その他の資産		
投資有価証券	2,178,368	2,936,296
営業保証金	611,858	596,282
その他	828,686	1,833,997
貸倒引当金	△54,604	△77,273
投資その他の資産合計	3,564,308	5,289,302
固定資産合計	12,628,863	17,847,413
資産合計	16,209,094	22,104,976
負債の部		
流動負債		
買掛金	369,018	411,813
短期借入金	480,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	484,324	808,522
未払法人税等	109,729	27,662
賞与引当金	168,829	95,777
資産除去債務	1,992	—
その他	682,534	723,801
流動負債合計	2,296,428	2,517,575
固定負債		
長期借入金	2,003,989	3,091,724
退職給付引当金	—	14,059
前受金復活損失引当金	19,603	26,690
資産除去債務	112,868	113,980
負ののれん	154,913	145,618
前払式特定取引前受金	4,887,082	8,048,584
その他	245,411	312,087
固定負債合計	7,423,866	11,752,744
負債合計	9,720,295	14,270,320

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,658	500,658
資本剰余金	1,620,512	2,033,012
利益剰余金	4,331,620	5,220,846
自己株式	△46	△46
株主資本合計	6,452,746	7,754,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,096	18,475
為替換算調整勘定	20,955	61,708
その他の包括利益累計額合計	36,052	80,183
純資産合計	6,488,798	7,834,655
負債純資産合計	16,209,094	22,104,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,268,199	9,375,358
売上原価	5,402,047	6,199,750
売上総利益	2,866,151	3,175,607
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	2,726	8,522
給料及び賞与	818,272	887,864
賞与引当金繰入額	50,213	55,446
退職給付費用	26,466	27,782
その他	1,076,651	1,322,095
販売費及び一般管理費合計	1,974,330	2,301,711
営業利益	891,820	873,896
営業外収益		
受取利息	24,763	26,892
受取配当金	3,040	2,739
負ののれん償却額	9,294	9,294
持分法による投資利益	1,605	4,712
掛金解約手数料	16,917	30,147
その他	82,536	77,684
営業外収益合計	138,158	151,471
営業外費用		
支払利息	36,899	54,660
前受金復活損失引当金繰入額	5,510	3,458
その他	23,928	20,035
営業外費用合計	66,337	78,153
経常利益	963,641	947,214
特別利益		
固定資産売却益	1,170	103,102
投資有価証券売却益	—	799
負ののれん発生益	—	209,115
受取補償金	327,696	16,019
その他	—	94,741
特別利益合計	328,867	423,777
特別損失		
固定資産売却損	—	34,800
固定資産除却損	1,917	35,895
減損損失	437,841	—
のれん減損損失	26,812	—
投資有価証券売却損	1	61
投資有価証券評価損	80	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	68,380	—
その他	—	1,218
特別損失合計	535,032	71,975
税金等調整前四半期純利益	757,475	1,299,016
法人税、住民税及び事業税	291,828	192,755
法人税等調整額	42,958	106,243
法人税等合計	334,787	298,999
少数株主損益調整前四半期純利益	422,687	1,000,016
四半期純利益	422,687	1,000,016

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	422,687	1,000,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△635	3,378
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,579	40,753
その他の包括利益合計	△2,214	44,131
四半期包括利益	420,472	1,044,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	420,472	1,044,148
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年4月1日を効力発生日とした株式会社郡山グランドホテルを完全子会社とする株式交換に際し、新たに普通株式300,000株を発行し割当交付いたしました。これに伴い、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が412,500千円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	石材卸売 事業	石材小売 事業	婚礼事業	生花事業	互助会 事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	3,561,939	1,368,168	1,114,553	1,830,495	339,478	7,294	8,221,929	43,954	8,265,884	2,314	8,268,199
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,338	229,275	17,223	169,990	301,544	284,010	1,003,381	52,138	1,055,520	△1,055,520	—
計	3,563,278	1,597,443	1,131,776	2,000,486	641,022	291,304	9,225,311	96,093	9,321,405	△1,053,206	8,268,199
セグメント利 益又は損失 (△)	157,975	157,096	116,923	230,854	74,432	19,442	756,725	△965	755,760	136,059	891,820

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益468,591千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△330,000千円、セグメント間取引消去8,591千円、のれん償却額△7,384千円、その他の調整額が△3,738千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失及びのれんの金額の重要な変動)

婚礼事業の総合結婚式場「SP VILLAS サンパレス会津」の閉鎖に伴い、「互助会事業」セグメントにおいて減損損失を434,853千円、「婚礼事業」セグメントにおいて減損損失を2,987千円計上しております。

また、報告セグメントに配分されていないのれん減損損失を26,812千円計上しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	石材卸売 事業	石材小売 事業	婚礼事業	生花事業	互助会 事業	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	3,778,638	1,423,786	1,095,912	2,656,654	358,357	7,591	9,320,940	52,103	9,373,044	2,314	9,375,358
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	15,526	297,161	7,606	148,848	304,851	309,915	1,083,910	59,511	1,143,422	△1,143,422	-
計	3,794,164	1,720,948	1,103,519	2,805,502	663,208	317,506	10,404,851	111,615	10,516,466	△1,141,108	9,375,358
セグメント利益 又は損失(△)	160,073	118,175	79,630	328,781	58,263	4,474	749,399	△2,289	747,109	126,786	873,896

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門及び介護事業であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益533,651千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△400,000千円、セグメント間取引消去8,506千円、のれん償却額△5,853千円、その他の調整額が△9,517千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間より、株式会社郡山グランドホテルを完全子会社とする株式交換に伴い、婚礼事業及び互助会事業の資産の金額が著しく変動しております。前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間末の報告セグメントの資産の金額は、婚礼事業4,541,694千円、互助会事業2,921,585千円がそれぞれ増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、株式会社郡山グランドホテルを完全子会社とする株式交換に伴い、同社を婚礼事業、同社の子会社である株式会社互助システムサークルを互助会事業及び葬祭事業に含めております。

（重要な後発事象）

（連結子会社による現物配当）

当社の連結子会社である株式会社郡山グランドホテル（以下、「郡山グランドホテル」という。）は、平成25年12月10日開催の取締役会及び平成25年12月24日開催の臨時株主総会において、郡山グランドホテル保有の子会社である株式会社互助システムサークル（以下、「互助システムサークル」という。）及び株式会社川島（以下、「川島」という。）の株式を当社へ現物配当することを決議し、平成26年1月6日に実施いたしました。

1. 現物配当（組織再編）の目的

持株会社としてグループ各社の競争力強化及びシナジーによるグループ全体の企業価値向上に向けて、郡山グランドホテルが保有する子会社2社（互助システムサークル、川島）の全株式を配当することにより、当社の直接子会社とする組織再編を実施するためのものです。

2. 郡山グランドホテルの剰余金の処分について

郡山グランドホテルが繰越利益剰余金を原資として、現物配当を実施いたしました。

(1) 当社に対する配当財産の種類及び帳簿価額の総額

金銭以外の財産（現物）の内容	株数	帳簿価額
互助システムサークル 普通株式	3,992株	54,687千円
川島 普通株式	20,000株	307,300千円

(2) 当社に対する配当財産の割り当てに関する事項

議決権割合100%を保有する株主である当社に対して、配当財産の全てが割り当てられました。

3. 実施した会計処理の概要

「自己株式及び準備金の減少等に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第2号 平成18年8月11日）、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）に基づき処理いたしました。

4. 施行件数の状況

当社グループのセグメントのうち主な事業である葬祭事業及び婚礼事業に係る葬儀、婚礼施行件数の当第3四半期連結累計期間における状況は次のとおりであります。

(1) 葬祭事業

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
	葬儀施行件数 (件)
福島事業部	862 (-)
郡山事業部	179 (105)
会津事業部	358 (-)
催事事業部	1,542 (-)
合計	2,941 (105)

(注) 1 催事事業部における葬儀施行件数は、株式会社J Aライフクリエイティブ福島との業務受託契約による施行件数であります。

2 施行件数の () は、株式会社郡山グランドホテルの完全子会社化に伴い、同社の子会社である株式会社互助システムサークルにおける葬儀施行件数を内書きしております。

(2) 婚礼事業

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
	婚礼施行件数 (件)
福島事業部	223 (-)
会津事業部	97 (-)
郡山事業部	337 (225)
合計	657 (225)

(注) 施行件数の () は、株式会社郡山グランドホテルの完全子会社化に伴い、同社における婚礼施行件数を内書きしております。